

市長「校名は暫定」

成徳決定 保護者に理解求める

統合問題説明会

倉吉市の成徳、灘手小を統合して4月に開校する新小学校校名が「成徳」に決まった経緯について、市教委は4日、両校の保護者を対象に説明会を開いた。出席した広田一恭市長は「校名は暫定。明倫との統合までに決め直したい」と、市議会の判断を受け止めていることを示し、保護者に理解を求めた。また、具体的な統合や協議開始の時期は示されなかった。

(本高慶修)

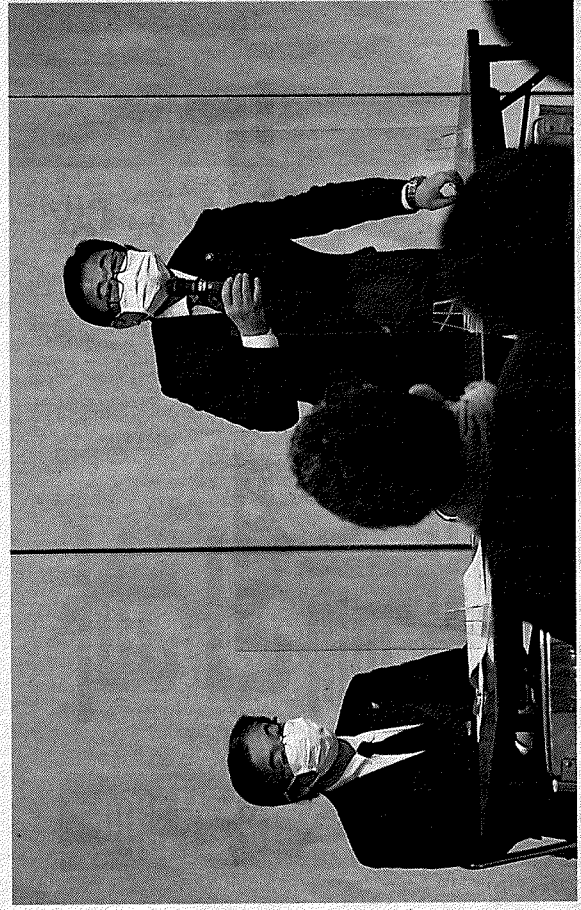
“仕切り直し”時期は示さず

校名を巡っては、地区住民でつくる学校統合準備委が「打吹至誠」と決めたが、先月の臨時市議会でも議決が「成徳」とする修正動議が出され賛成多数で可決。

この決定を受けた統合準備委は自主解散した。この際、一部の市議や準備委から将来計画する明倫小との統合までに校名を決め直すよう注文が付いた。

20人が参加。昌頭、広田市長が「校名が二転三転し、迷惑をおかけした」と謝罪。市教委が「『打吹至誠』は納得しない声が多く、決定すれば開校できなくなる恐れがあった」などと議会が「成徳」を提案した理由を説明した。質疑で明倫小との統合時期を問われた小樽博幸教育長は「統合は数年先。どういつメンバーでいつから校名の協議を始めるかは慎重

に決める」と回答。保護者からは広田市長教育長の主体性を問う声もあつたが、校名を求める声は出なかつた。閉会后、成徳小の女性保護者は「開校前なので気持ちを前向きにしたい。灘手の人の意見を尊重し、灘手女性保護者は「子どもも名前でも納得する。ただ大人が納得しない所を見せてほしい」と話した。説明会では新しい校歌も示された。成徳、灘手、明倫の木・ツバキの花を中央に「小」を配置は昨年、児童から新しい学校への思いに盛り込んである。にも校名は入って



学校名を「成徳」と決めた市議会の議決について見解を述べる広田市長＝4日、倉吉市上灘町の上灘コミュニティセンター

住民反発、一時紛糾

灘手地区の説明

4日夜には灘手コミュニティセンターで地区住民対象の説明会を開いた。広田市長をはじめ、「成徳」案に賛成した市議8人のうち、6人が自主的に参加。「過半数でまともなのが成徳だった」と賛成理由を説明したが、住民からはなぜ打吹ではないんだという意見が多く出た。70人が参加。藤井隆弘議

員が「反対の多い『打吹至誠』を避けるためにはどうしたらいいかを仲間と協議し、『打吹』『成徳灘手』などさまざまな案があつたが、過半数でまともなのが『成徳』だった、福井典子議員は「3校で決め直す余地を残すため現状の成徳に賛成した」と説明した。住民は「既存校名を使わないというルールをなぜ破

った」「責任を誰が決めるか」と言つた。『責任を誰にするのだ』などと言つた。一時紛糾。「成徳」なる字が仮称(成徳)業するのはいわゆる倫が統合になるの先。新校名で卒業されるよう早急に本にしてほしいと要